

2024年6月吉日

各位

日本保険・年金リスク学会  
研究普及委員会 原田・野村

## JARIP 研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）の研究会を下記のとおり開催しますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

### 1. 研究会の概要

講演題目：「ERM 規制化における保険会計のあり方について」

第2回：経済価値ベースの規制の考え方と意義

- ・経済価値ベースでとらえることの意義
- ・経済価値ベースの規制の概要

日時：2024年7月12日（金曜日） 開始：17:30、 終了：19:00

場所：対面と Zoom のハイブリッド開催

① 対面：早稲田大学 早稲田キャンパス 11号館 819教室

（エスカレーターで8階まで上がって左手側前方通路の突き当り左手にございます）

早稲田大学へのアクセスはこちらをご参考にしてください

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

早稲田大学のキャンパスマップはこちらです

<https://waseda.app.box.com/s/ctvnsi6nckz4yk9kkrch64av0od0ai9t>

② Zoom：参加申込期日後に参加用 URL をお知らせいたします

講師：谷口 豊 氏（早稲田大学商学学術院、非常勤講師）

（講師略歴は次頁）

講演概要：

2025年度に導入が予定されている経済価値ベース（時価ベース）のソルベンシー規制（ESR）は、従来のソルベンシー規制（SMR）とは大きく異なっている。なかでも、SMRは、負債の大半を占める責任準備金を取得原価で評価しているため、いったん獲得した保険契約の責任準備金（保険負債）の評価は原則として動かない。これに対し、ESRは資産も負債も経済価値ベースで評価するので、金融市場や発生率等の変動による影響がただちに反映される。現行の保険会計は、従来のソルベンシー規制等の算出基礎となっているもので、経済価値ベースのESRとは整合的ではない。そこで、日本の保険会計として、問題点や課題についての調査研究を行い、それらを公表することで、更なる保険学の発展へ寄与することを目指す。

※ 今回は次頁のスケジュールにて全6回に渡って開催される研究会の第2回となります。

## 本研究会のスケジュール：

回	実施予定時期	テーマ	サブテーマ
第1回 実施済	2024年5月	(1) 現行会計の再整理	➤ イントロダクション ➤ 生命保険と超長期性 ➤ 生命保険会計の特徴と位置づけ
第2回	2024年7月	(2) 経済価値ベースの規制の考え方と意義	➤ 経済価値ベースでとらえることの意義 ➤ 経済価値ベースの規制の概要
第3回	2024年9月	(3) 規制と会計の差異とそれが及ぼすと考え得る影響	➤ 経済価値ベースとの比較でみた現行会計の課題 ➤ 各種戦略（商品戦略・運用戦略）への影響
第4回	2024年11月	(4) 「リスク管理高度化」に資する会計とは中間報告	➤ リスク評価・パフォーマンス評価に関する各社取り組み ➤ 評価の比較可能性
第5回	2025年1月	(5) 上記を踏まえた提言	➤ これまでの議論のまとめ ➤ 経済価値ベースの規制を見据えた保険会計のあり方
第6回	2025年3月	最終報告	➤ 総括

## 2. 参加費

無料

## 3. 参加申し込み

期日:2024年7月9日(火) 13時

学会サイトの【専用申込フォーム】より申し込みください。

<https://jarip.org/appjarip/?a=addWorkshop>

## 4. 講師略歴

2000年に千代田生命保険に入社後、エイアイジー・スター生命保険、ジブラルタ生命保険にて決算業務、商品開発業務、収益管理業務に携わり、現在はプルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン株式会社にて系列グループ会社の戦略立案の業務に従事しています。その他、アカデミアの分野では、2020年から早稲田大学総合研究機構保険研究所の招聘研究員に、2022年から早稲田大学商学大学院の非常勤講師として活動しています。

**5. 助成** 本研究会は一般財団法人簡易保険加入者協会の助成により行われます。早稲田大学産業経営研究所の研究会への共催として開催します。